



環境・教育・民間委託・産業振興など

一般質問で議論白熱

12月定例会

平成15年第4回定例会は、12月4日に開会し、議員や特別職、職員の手末手などを削減するための条例の一部改正や約8億7千万円の一般会計補正予算など16議案が市長から提案され、原案のとおり可決しました。

議員からは、「自動車NOx・PM法」の実効確保を求める意見書など4件の議案を提案し、可決しました。

一般質問では、7人の議員が市政の重要課題について理事者の見解をただし、11日に閉会しました。

審議された

おもな議案

今定例会で審議された議案の主な内容は次のとおりです。
▽15年12月期に支給する期末手当を0.25カ月減額する議案。
▽職員の配偶者への扶養手当140000円を135000円に減額する議案。

▽生活保護費を約7億2千万円増額するなどの一般会計補正予算の議案。
▽職員の給料月額平均1.06%減額する議案。
▽市の組織機構を一部改正する議案。

意見書を可決

議員提案により可決し、国会や内閣総理大臣、関係する各大臣、大阪府知事に提出した意見書は次のとおりです。

○「自動車NOx・PM法」の実効確保を求める意見書

○重度障害者医療費助成制度の存続を求める意見書

○新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書

○観光立国へ積極的な施策推進を求める意見書

下水道事業

経営意識の観点で

【問】平成18年度に下水道事業を企業会計に移行するに当たって、経営意識の観点から水酸化率を向上させるべきと考えるその対策は。

【答】現在69名の職員を平成16年度には59名体制に、企業会計に移行する18年度にはさらに人員の削減を図り、総人件費を自己財源である下水道使用料の4分の1程度にまで圧縮し、コスト削減を図っていく。職員の意識改革は重要と考えられるので、移行までの3年間で、公認会計士による継続的な講習の開催など、企業会計職員としての経営意識の向上を積極的に図っていく。



下水道接続で快適な生活を

【問】企業会計方式のもと、経営内容が明確にし、透明性を向上させ、事業経営の効率化を図るためには、具体的な実施計画を策定すべきと考え

ここがききたい

一般質問

要領」を施行した。この要領に基づき、所定の手続きをすれば、登録員として任命され、推進団体の認定も受けることができ、

【問】本市での不法広告物の撤去の現状と今後の対応は。

【答】現在、登録員26名の認定団体が、月に3〜4回の不法広告物の撤去作業を行っている。市としては、環境整備課が週に1回の撤去作業を実施している。今後は、撤去作業の継続とともに、町会やボランティア登録員などに登録員制度をPRし輪を広げていきたい。

みんなでなくそう

不法広告物

【問】見苦しい不法看板の撤去活動がテレビで放映された。

本市の場合、合法的に市民が不法広告物を撤去するにはどうすればよいのか。

【答】市と地域住民が一体となって快適で美しいまちづくりを推進するため、15年8月から「岸和田市違法屋外広告物追放登録員設置



不法広告物撤去で美しいまちづくり

【問】見苦しい不法看板の撤去活動がテレビで放映された。本市の場合、合法的に市民が不法広告物を撤去するにはどうすればよいのか。

【答】市と地域住民が一体となって快適で美しいまちづくりを推進するため、15年8月から「岸和田市違法屋外広告物追放登録員設置